

平成 26 年 2 月 7 日

東京都杉並区
区長 田中 良 殿

一般社団法人日本地質学会
会長 石渡 明

杉並区立科学館の維持・発展に関する要望書

私どもは、地質学とその応用についての研究成果の公表、知識の交換、内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、地質学の進歩と普及を図り、学術の振興と社会の発展に寄与・貢献することを目的とした、約4000人の研究者、技術者、教育者などの団体です。

今般の貴区立施設再編整備計画（案）で示されました「科学館の廃止」について、私どもは、同館が果たしてきた役割の重要性と実績の大きさに鑑み、貴区のご再考をお願いいたしたく、要望書を差し上げる次第です。

貴区立科学館は、前身の貴区立科学教育センターの昭和 44 年設立以来、全国に先駆けて児童・生徒の理科学習支援活動を実施され、平成 14 年の科学館への改称以後は、貴区民の理科分野の生涯学習施設としても機能し、科学の振興や教育普及を先導してきたことは、学術・教育関係者の間では広く知られております。

貴区立科学館の基幹事業である「移動教室」は、小・中学校理科のほぼ全ての学習単元に対応した実験授業を整備し、貴区内の大部分の小・中学校が利用されているのは、体験型理科学習プログラムとして全国的にもユニークで優れたものであります。現行の学習指導要領が示す「博物館や科学学習センターなどとの積極的な連携、協力」を、開館当初から継続的に実施している貴区の教育関係者の先見性に敬意を表します。

また、貴区立科学館が保有するプラネタリウム、流水実験場、生物解剖実験室などの施設を利用しての理科実験が児童・生徒に与える教育効果は非常に大きく、教員の授業準備、教材研究、研修などにも有効に利用されているとお聞きしております。さらに、開館当初からの夜空の観望会や第一線の天文学者を招いた講演会は、貴区に多くの天文ファンを根付かせ、地質や生物の分野でも公的な機関が募集する企画に連続して採択されるなど、質の高い科学教室・講座を開催してきたことはまことにすばらしい実績と存じます。宇宙や地球環境への関心が高まる中で、これらの生涯学習プログラムに多くの需要があり、継続的に参加する貴区民や教員が増加していると伺い、ご同慶の至りです。これは貴区立科学館で理科分野の生涯教育を行うメリットが十分に発揮された結果であり、専門性に優れた職員の方々の働きも大きく与ったことと拝察いたします。

現代社会は、さまざまな環境問題、資源・エネルギー問題、自然災害などに直面しており、正しい科学的知見に基づいて、自然現象と人間活動の調和を考察し、あるべき方向性や適切な対応を考えて行動できる能力が国民一人一人に求められています。

貴区立科学館が長年区民と共に築いてきた多岐にわたる教育・研究成果、有用な設備、優れた人材を生かして、科学教育の発展に今後もより一層貢献されることを切に希望し、持続可能な社会の実現に向けて、豊かな知識と文化を享受する場として、今後も貴区の科学館事業が継続されることを要望いたします。